

通学路点検についての要請書

2021年8月19日

瀬戸市教育委員会
教育長 横山 彰 様瀬戸市教職員労働組合
執行委員長 甲斐雄彦
(瀬戸市立幡山東小学校)

通学路点検に関する要請書

日頃より、児童生徒の安全対策・教職員の多忙化解消のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

瀬戸市教育委員会は、7月20日、「通学路における合同点検の実施について(依頼)」を発出しました。千葉県における下校中の児童が死傷するという痛ましい事故をうけ、通学路の危険個所の再確認を行う作業を行ったことは、「こどもの安全を第一に」と願う保護者や市民に歓迎されています。

つきましては、下記内容の質問及び要請に対して文書(資料を含む)での回答をお願い致します。

記

1. 従来の危険個所と今回明らかになった危険個所の資料提示をお願いします。
2. 危険個所の改善策について明らかにしてください。
①具体的な対策を示してください。
②スケジュールを明らかにしてください。
3. 調査結果を広報等を通じて市民に周知してください。
4. 交通安全は社会全体の問題として捉え、県や国との連携を強化し、早急に危険箇所を無くすとともに安全対策を万全に行うよう関係機関に要請してください。

夏休み終了直前に愛知県が緊急事態宣言の対象地域に追加され、各学校は対策や対応に大変でした。

新学期早々は午前中の授業で給食後下校となりましたが、2学期の行事の見直しや変更、感染対策に悩みが尽きません。消毒液など対策に必要な備品は確保されているでしょうか？感染予防に不織布のマスクが良いとされていますが、今こそ「スガノマスク」(不織布)の無償配付が必要ではないでしょうか。



不調のサインに注意
厚労省のHPでは子どもの変化に注意が必要とし、以下の行動を紹介しています。

学校での
取組みを
お知らせ
ください



子どもと向き合う中とりを
文科省は、昨年の小中高生の自殺者は496人(8月は65人)と発表。今年さらには増えているようです。例年夏休み明けの時期は、自殺する子どもの数が急増します。長引くコロナ禍で子どもも大人も社会も多くのストレスを抱えています。学校は「心通うオアシス」の場であってほしいです。そのためにも、人員・予算・物資の拡充とゆとりが必要で。

・夜更かししている
・パンやご飯、お菓子などの炭水化物をほしがる
・身だしなみにかまわなくなつた
・何もしないで長い間ぼんやりしている
・また、フリースクール全国ネットワークの前北さんは、
・寝付きが悪い
・学校の話をすると露骨にいやがる
などを不調の兆候に挙げています。校内のみならず保護者との情報の共有も大切になってきます。

小池都知事に要請

2021年8月20日

東京都知事
小池 百合子 様瀬戸市教職員労働組合
執行委員長 甲斐雄彦

パラリンピックの学校連携観戦を中止し、子どもたちの命と健康を守ってください

無観客開催のパラリンピックなのに、どうして学校、子どもだけ参加させるのか、子どもの感染者も増加しつつあるデルタ株が猛威をふるうなか、安心安全と言えるのでしょうか。

責任は誰がとるのでしょうか。

東京都および都教育委員会は、出席した教育委員全員が新型コロナウイルスの感染状況悪化を懸念し、学校連携観戦に反対したことを真摯に受けとめ、パラリンピックの学校連携観戦を中止し、子どもたちの命と健康を守ってください。

※ アンケートにご協力ありがとうございました。

「タフレットの使用について」
・国語の教科書に沿った内容のタフレットがほしい。
・携帯のSHOP店員のような、何でも質問にこたえてくれるような人が職場にいてほしい。
・ICT支援態勢については人員不足
・タフレットで宿題をおこなうなど、ICTを家庭で使う機会を増やしていきたい。

「タフレットスクール構想・タフレットについて」
自分より子どもの方が使いこなせているので、自分が

もつと使えるようになると思う。PCがWINDOWSで、タフレットがAPPLEで、互換性に問題ないのかと思っている。
「タフレット端末万能論」の風潮が社会に広がっていてとても気になります。大事なツールであり、必需品の存在となつていますが、先生方には子ども一人ひとりと向き合った授業や生活を望みます。特に、小学校低学年は「ふれあい」を大切にしたいです。健康被害についても大いに啓発活動をしてほしいです。

タフレットアンケート 3

ICT教育を推進する

